

まずはこの1か月間紀南で研修させて頂きありがとうございました。初めの2週間は診療所や離島での研修を、後半の2週間は病棟で研修させて頂きました。診療所には神川、それから紀和には複数回同行することができ、鈴木先生と森本先生より地域医療の概念や面白さ、一般的な診察の仕方についてたくさん教えて頂きました。離島研修では、当初は神島のみのお予定でしたが、神島行きの船が欠航したため代わりに桃取診療所に行くこととなりました。桃取診療所でも十分離島を感じることができたのですが、やはり神島に行ってみたくてという願望があったため、研修センターの方々に無理を言って、翌日に神島診療所へ行かせて頂きました。神島診療所では約40人ほどの島の住人にインフルエンザのワクチンを打ちましたが、その日は合計で60人ほどの患者が受診しており、島の5分の1くらいの人に携わることができたのかと思うと嬉しかったです。様々なへき地医療を体験した後は紀南病院での救急対応や病棟管理などを福井先生と一緒にさせて頂きました。当初の目的は紀南病院と済生会との違いを見つけることだったのですが、失礼な話ですが紀南病院は私が想像していたよりもはるかに設備が整っており、済生会と比べて差異はないように感じました。ただやはり転院搬送となると、往復で4時間ほどかかってしまうところや、ドクヘリが結構な頻度で飛んでいるところは紀南病院ならではの地域医療を体感できました。

紀南病院に研修に来た初日に、地域診断をするように、地域に足を運び、地域を知ってほしい、感じてほしいと言われました。研修の合間をぬってダイビングのライセンス取得や、様々な観光地、日帰り温泉に行きました。おいしいごはんもたくさん食べることができました。この1か月は私にとって、地域研修の1か月ではありましたが、紀南の良さに触れることで羽を伸ばすことができた1か月でもありました。ここに来るまでは、この1か月間地域研修で紀南にいる研修医は私一人しかいないという寂しさはあったのですが、地域診断という名目で紀南を堪能していくうちに、逆に一人だからこそ自由に紀南を味わうことができ、紀南のことが好きになりました。今後私は産婦人科医として三重県で働くこととなりますが、紀南周辺の産婦人科は今でもさらに撤退しつつあると聞き、産婦人科医として一人前となった頃にはなにか紀南に恩返しができたらいいなと思っています。

最後に、指導医の福井先生はじめとし、私のことを歓迎してくださった紀南病院の先生方、救急や病棟でお世話になった看護師、検査技師、スタッフの方々、本当にありがとうございました。

